

開催慶祝の言葉

「古と優艶の書画展」は、平成六年の平安建都二二〇〇年を記念して開催されました。例年、素晴らしい作品を出展いただきます諸先生方と、ご来場いただきます全ての方々、心から歓迎の意を申し上げます。

本展には、二二〇〇余年という永き研鑽の末に育まれてきた京都の伝統的精神と文化に立脚した、芸術創造に日夜精進していらっしゃる諸先生方の作品が展示されております。

第二十二回展開催に際して

音羽山清水寺において、毎年多くの来場者で賑わつてまいりました「古と優艶の書画展」がこの度、二十二回目を迎えられることを心よりお慶び申し上げます。

今年「琳派四〇〇年記念祭」で盛り上がるなか開催される本展では、本阿弥光悦の書が展示されることとなりました。光悦は青蓮院流の尊朝親王から書法の伝授を受け、四〇歳代前半頃から光悦流を確立して多くの追従者を世に輩出します。紙面に對する布置や線質など表現の調和が見事で、構成美

ご挨拶

「平安建都二二〇〇年」を機に開催してまいりました「古と優艶の書画展」は今年で二十二回目を迎える運びとなりました。本展に多大なるご理解とご協力を賜つております皆様方に、厚く御礼申し上げます。

江戸時代、能書家の最上位に挙げられた近衛信伊、松花堂昭乗とともに、寛永の三筆と謳われたのが本阿弥光悦でした。光悦は刀劍鑑定の名家に生まれながら、書画、陶芸、漆芸などにも優れた江戸時代の美術家として多くの美術品を現代に残しています。

また特別展示として当山の森清範貫主、並びに月照上人、大西良慶和上の書画数点もご鑑賞いただいております。

古の悠久芸術を、現代の精鋭作家による優雅優美なる書画を通してご高覧いただくとともに、清水寺の慧日風光を心ゆくまでお楽しみ下さいますよう希望いたしまして、当山からのご挨拶とさせていただきます。

合掌

音羽山清水寺

を優先させる書の意匠化を実現させた能書家として、誉れ高い寛永の三筆の一人に挙げられました。

また京都は光悦が芸術村を築き、様々な創作活動を行なった場でもあります。伝統の継承と革新を促した光悦に縁深いこの古都で、光悦貴重書の書と現代の書画芸術を創作される皆様の作品が圓通殿に会する本展は、国内外の人々に書画の伝統と革新を伝える、またとない機会となることでしょう。日頃の御研鑽に對して心より敬意を表します。

古と優艶の書画展名誉顧問
社会教育功労者 文学博士

加藤達成

二〇一五年は光悦をはじめ、琳派を代表する美術家が活躍した時代から四〇〇年の節目にあたります。これを記念して本展では、本阿弥光悦による貴重な書作品を特別展示する運びとなりました。

書の文化を芸術の域に高めた先人の技と心を受け継ぐのは、日々の探求を惜しまない皆様です。その奮闘努力に心より敬意を払い、今後も日本が誇る書の魅力を末永く伝えられるよう、本展の盛会に力の限り尽くす所存です。

古と優艶の書画展実行委員長
株式会社クオリアート 代表取締役社長

櫛田英俊

企画名

第二十二回清水寺 古と優艶の書画展

主催／古と優艶の書画展実行委員会

運営／株式会社クオリアート

後援／京都府、京都市、京都市観光協会

琳派400年記念祭委員会

協力／音羽山清水寺

会期

二〇一五年十二月四日(金)～十二月九日(水)

時間

午前十一時～午後四時(最終日は午後二時まで)

会場

音羽山清水寺 圓通殿 京都市東山区清水一丁目

特別展示

— 日本文化の源泉 —
琳派の歴史とその書

※内容は変更となる場合がございます。

レセプション

二〇一五年十二月五日(土)

午後一時より清水寺境内洗心洞にて

※皆様の御参加を心よりお待ちしております。

過去開催の様



清水寺歴代住職の書など



NHKの取材風景



加藤達成名誉顧問による講演

お問い合わせ

株式会社クオリアート内 古と優艶の書画展実行委員会

〒530-0047 大阪市北区西天満1-2-5 大阪JAビル5F

※清水寺へのお問い合わせはご遠慮ください。

TEL.06-6311-1400

琳派四百年記念祭

第二十二回

清水寺

KIYOMIZU DERA TEMPLE CALLIGRAPHY AND INK EXHIBITION

古と優艶の書画展

二〇一五年十二月四日

金

十二月九日

水

主催 古と優艶の書画展実行委員会

運営 株式会社 クオリアート

協力 音羽山 清水寺

後援 京都府、京都市、京都市観光協会

琳派400年記念祭委員会

